

# 笠間市の未来を創る



## 令和4年度 施政方針

新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら、世界中で感染拡大が続いています。感染症の克服は今なお喫緊の課題であり、市においても、引き続き感染症対策を最優先に進めていきます。

新型コロナウイルスワクチン接種については、3回目接種と、5歳から11歳の子どもへの接種を迅速かつ円滑に進めていきます。また、落ち込んだ市内経済の回復に向けた取り組みを進め、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていきます。

今回のコロナ禍は、人口減少時代の対応という大きな課題にある中で、地域医療・保健・産業・教育・行政などが幅広い範囲に取り組みの加速化につながる影響と変化をもたらしました。また、少子化・高齢化を背景としたさまざま

### KASAMA CITY

さまざまな課題や脱炭素化をはじめとする地球規模の課題など、統合的な対策が求められています。

人口減少時代における挑戦を継続し、都市基盤や生活環境、健康・福祉、産業、教育・文化、地域づくり、自治体運営の7つの柱に沿って施策を推進していきます。

令和4年度は、笠間市総合計画後期基本計画の5年間の初年度です。笠間市の未来を創る元年と位置づけ、施策をしっかりと実行していきます。



## SDGs ってなに？

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。17のゴールと169のターゲットで構成され、日本としても積極的に取り組んでいます。

市では第2期笠間市創生総合戦略において、横断的な取り組みの強化の観点から、SDGsを原動力とした施策と事業の推進を位置づけ、さらなる取り組みの充実を図っていきます。今年度の重要事務事業においても、SDGs各目標のアイコンを使いながら関連性をお伝えします。

笠間市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 笠間市の財政状況をもっと知ろう！

市ホームページで、より詳しい財政状況を確認できます。ホームページ内の検索窓で「予算概要」と検索

pick up!

# 令和4年度は、住みたくなる「笠間暮らし」の構築 —地域社会と経済の活性化—

## 重要事務事業と令和4年度予算

今回のコロナ禍は、医療・予防、産業、教育、行政など、幅広い範囲に影響と変化をもたらし、国全体として感染症の克服・経済の再生・生活の安定が求められていると同時に、少子化・高齢化を背景とした課題や温暖化対策などの地球規模の課題など、より複合的な対応が必要となっています。これらの状況を受けて、今年度は「住みたくなる笠間暮らしの構築（地域社会と経済の活性化）」を重点課題として設定しました。「多様な人材の育成と確保」と「デジタル化の推進」、「脱炭素社会の実現」を共通の視点として、人口減少時代、そしてコロナ禍における挑戦を継続していくため、「ひと」「まち」「もの」の3点をテーマに、笠間市第2次総合計画および第2期笠間市創生総合戦略に即した52事業を令和4年度の重要事務事業に選定しました。



暮らしの安心感の向上と多様な人材の育成・確保



持続的な活性化につながる都市基盤の構築と活用



稼ぐ力の強化と所得の向上につながる地域経済の活性化

3点のテーマである「暮らしの安心感の向上と多様な人材の育成・確保（ひと）」では、複雑化する市民生活における問題への対応に向けた、きめ細やかなサービスの提供強化策やテレワーク、地方への関心の高まりをとらえた移住等の推進など、医療・福祉・教育環境を市の強みとする取り組みを推進します。

「持続的な活性化につながる都市基盤の構築と活用（まち）」では、暮らしの安心感向上による定住化、地域経済の活性化に資する都市基盤の構築に向け、有事に対する強靱化をはじめ、既存の拠点の活用、公共交通施策の強化など公民連携を視点としながら取り組みの強化を図ります。

「稼ぐ力の強化と所得の向上につながる地域経済の活性化（もの）」では、柔軟で強い産業基盤の構築と成長支援策の強化をはじめ、市の特性を活かした誘致や創業支援、新たなツーリズムの創出などの取り組みを推進します。

第2次総合計画で定めた将来像、文化交流都市。その将来像実現に向けた都市基盤など7つの政策方針に基づき、それぞれの政策と目標を達成するため、令和4年度に選定した重要事務事業は52事業。その中の一部をピックアップして紹介します。 ※52事業は市ホームページでも紹介しています。一部掲載順がホームページ上のものと異なります。

### 令和4年度予算

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた令和4年度の予算総額は、564億3,490万7千円となっています。

予算編成にあたり、人口減少や少子高齢化の進行による社会保障関連経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか、市民の生命と健康維持を第一に考え、引き続き感染症への対応を行うとともに、市民サービスのデジタル化や脱炭素社会の実現など、安全で安心な生活環境の構築と地域経済の活性化への取り組み強化に向けた予算を編成しました。

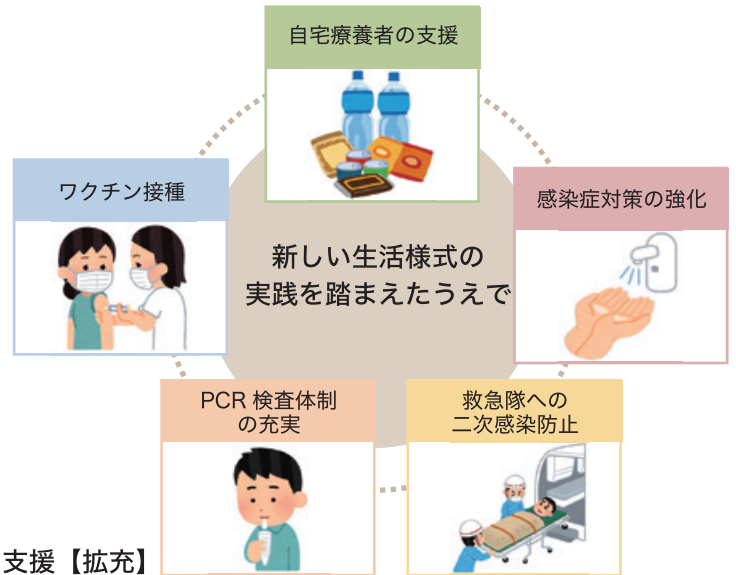
また、健全な財政運営を継続するため、限られた貴重な財源を有効活用し、必要性が高い事業に重点を置いた予算とすることを掲げ、行財政改革を推進しつつ、事務事業の見直しやビルド・アンド・スクラップにより、効率的で実効性の高い行政運営を目指し、全部署において可能な限り経費の見直しを図りながら、「住みたくなる『笠間暮らし』の構築」を重点課題として適切に予算を執行していきます。

## 1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進【新規・拡充】

感染症拡大防止を強力に推進するため、ワクチン接種の前倒し・PCR 検査体制の強化・自宅療養者支援を進めるとともに、国の制度により給付金などの支援措置、社会経済活動の再開に向けた取り組みも実施していきます。

### <感染症対策の推進>

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業【拡充】
- 自宅療養者支援事業【拡充】
- PCR 検査体制の充実
- 救急隊の感染症対策の強化
- 地域・施設等での感染症対策の強化
- 新型コロナ対策関連の広報の実施
- 小中学校における感染拡大防止の強化



### <地域経済対策の推進>

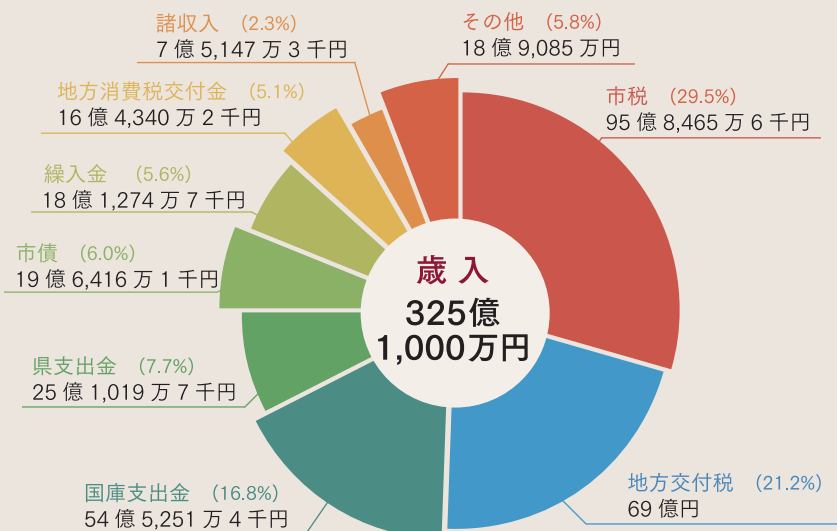
- 新しい生活様式に対応したイベント等の開催への支援【拡充】
- 事業者支援と連動した市内農産物の学校給食での提供
- 事業者支援（建設業）と連動した住宅リフォームの促進
- 事業者支援と連動した市内周遊ツアーの実施【新規】

※その他、各施策の中で事業支援、成長策等を展開



### <国制度による給付金>

- 新型コロナ生活困窮者自立支援給付
- 子育て世帯への臨時特別給付
- ひとり親世帯への生活支援特別給付



自主財源のうち、市税は95億8,465万6千円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は69億円、国庫支出金は54億5,251万4千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上しており、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。

### ▽歳入

令和4年度の一般会計予算は、325億1,000万円となっています。

### 一般会計

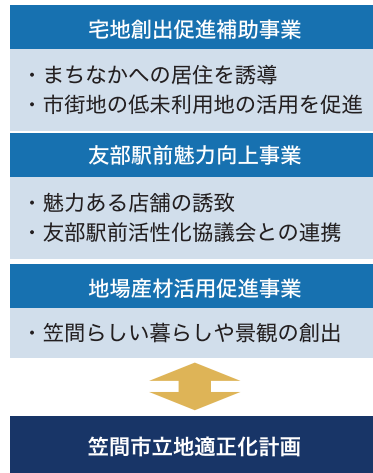
一般会計は、市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

## 2. 魅力ある市街地づくりの促進【新規・拡充】

人口減少や少子高齢化の社会背景のもと、コンパクトで持続可能なまちづくりの推進を目的に、まちなかへの居住を誘導する新たな支援制度の創設や既存制度の拡充を行います。また、笠間らしい暮らしや景観を創出し、市街地の高質化を図ることで、魅力ある市街地づくりを促進します。



- **宅地創出促進補助事業【新規】**  
一定要件を満たす宅地整備を行う事業者に対する補助
- **友部駅前魅力向上事業【拡充】**  
笠間市の玄関口である友部駅前の商業地域の魅力向上を図り、新たな賑わいを創出
  - ・空き店舗等を活用した出店に対する補助
  - ・街路灯設置工事による景観づくり事業
- **地場産材活用促進事業**  
住宅や店舗等の新築・改修等に笠間焼や稲田みかげ石を使用した費用を補助



魅力的でにぎわいのあるコンパクトで持続可能なまちづくり、住まいづくりを支援

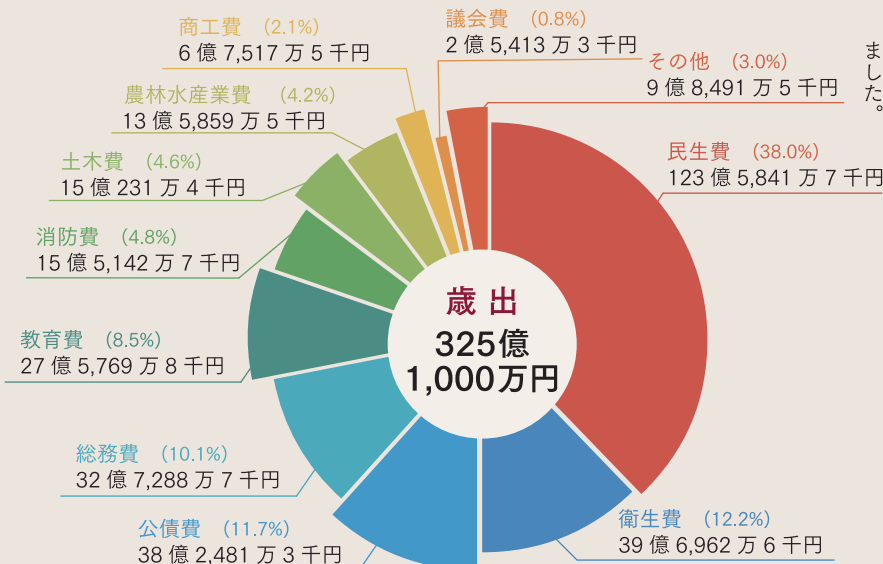
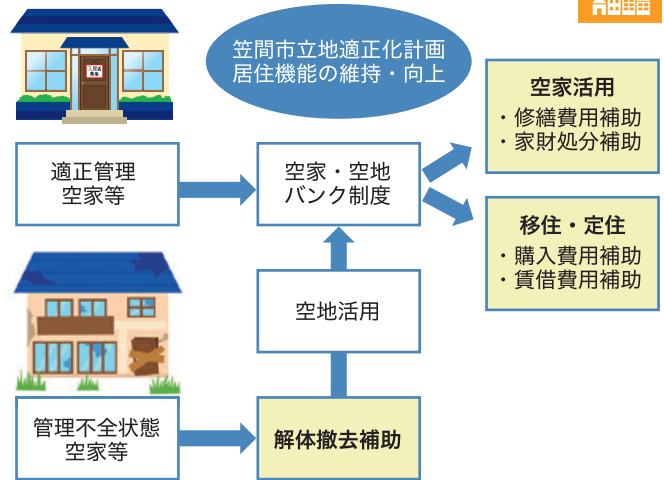


## 3. 移住等につながる空家・空地利活用の促進【拡充】

「空家・空地バンク」による移住・定住の推進等に取り組みます。また、関連制度等を見直し、空家等の発生抑制対策を進めます。



- **空家活用補助金【拡充】**
  - ・修繕に対する補助
  - ・既存住宅状況調査に対する補助
  - ・空家の取得・家賃・家財処分に対する補助
  - ※誘導区域内は補助額等を拡充
- **空家解体撤去補助金【拡充】**  
管理不全な状態にある空家の早期解決に向けた老朽危険空家の撤去促進  
※誘導区域内は補助額等を拡充



▽ **歳出**

民生費には、障害者自立支援給付費、生活保護給付費、民間認定こども園・保育所入園負担金、介護保険特別会計への繰入金などの経費として123億5,841万7千円を計上しました。

衛生費には、最終処分場建設事業、新型コロナウイルス感染症対策事業などの経費として39億6,962万6千円を計上。総務費には、行政サービスのデジタルトランスフォーメーションにかかるシステムなどの整備や企業立地促進事業にかかる経費など32億7,288万7千円を計上しました。

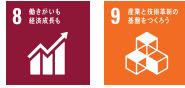
教育費には、小中学校のGIGAスクール関連や通学支援、小中学校の給食、図書館や公民館の運営などの経費として27億5,769万8千円を計上しました。





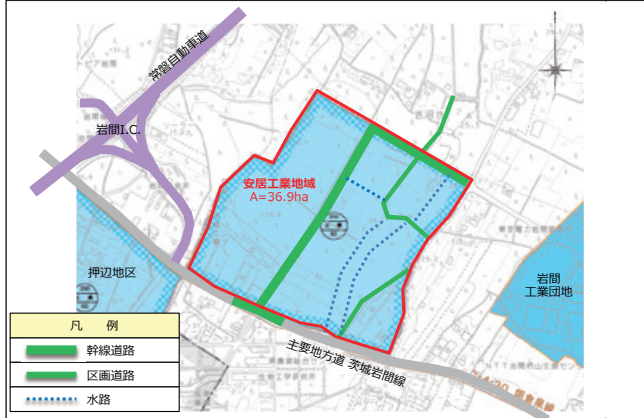
## 5. 安居工業地域の整備【拡充】

今後の企業立地の受け皿のひとつとして、安居工業地域の土地利用促進を図るため、道路・水路等の基盤整備を推進します。



### ● 安居工業地域整備促進事業【拡充】

公有財産購入・物件移転等補償・測量設計等委託



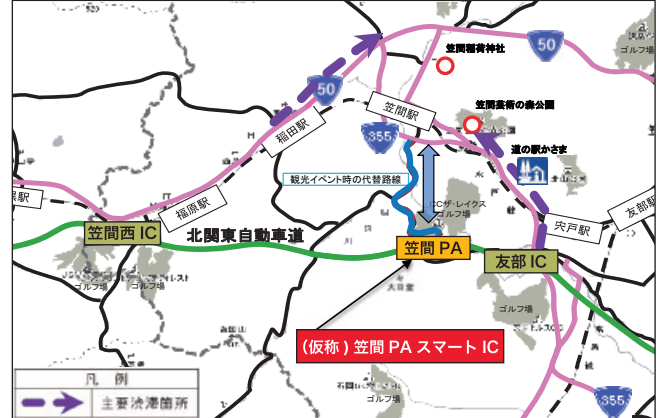
## 4. 北関東自動車道笠間 PA スマート IC 整備の促進【拡充】

高速道路の利便性の向上、観光・産業を中心とした地域の活性化および災害・緊急時の対応強化を図るため、笠間PAスマートIC整備事業を促進します。



### ● 笠間 PA スマート IC 整備事業

測量設計等委託・NEXCO 負担金



## 6. 消防強靱化計画の推進【新規・拡充】

人材育成・現場対応力の向上・就労環境の向上を柱とした「笠間市消防強靱化計画」を推進し、消防体制全体の強化を図ります。



### ● 消防団車両の更新

### ● 消防団詰所の更新【拡充】

### ● 消防団の処遇改善及び団員確保の推進【新規】

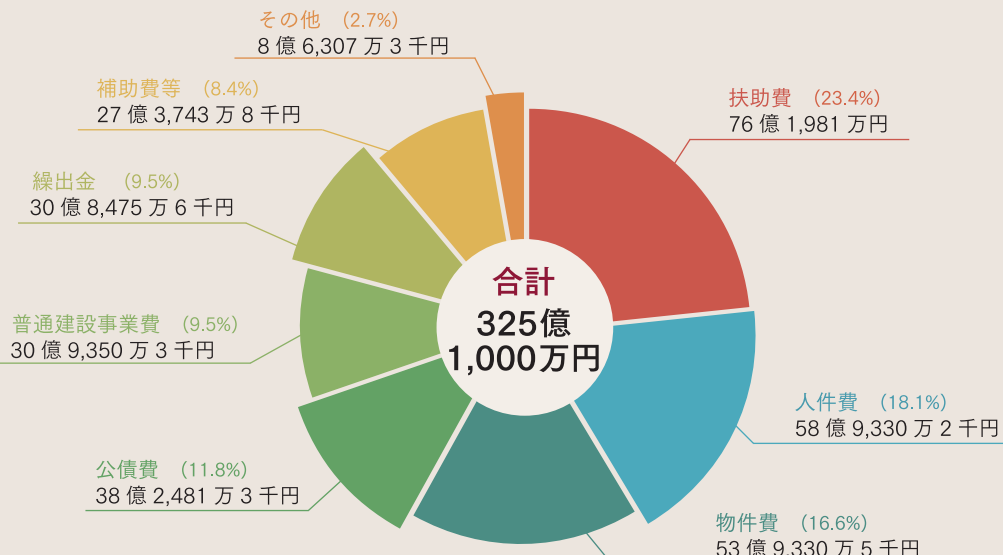
消防庁が示す「非常勤消防団員の報酬等の基準」を踏まえ、報酬等の処遇を改善

### ● 岩間消防署の整備【新規】

老朽化した岩間消防署の新庁舎建設を、令和4年度から令和5年度にかけて実施

### ● 職員の人材育成【新規】

職員の人材育成と消防力の強靱化を図るため、総務省消防庁へ職員を派遣



▽ 歳出予算性質別内訳

## 7. 地域脱炭素化の推進【新規・拡充】

デジタル化や歴史・自然の保全との調和のとれた脱炭素社会を実現するため、電気の地産地消による自給自足を目指し、個人・公共施設での積極的な再生可能エネルギー導入を中心とした取り組みを行います。



- 脱炭素社会実現事業【新規】
  - ・住宅用太陽光発電・蓄電システム設置費補助金
  - ・区域施策編の策定と事務事業編の改定
- 分別収集事業【新規】
  - ・生ごみ処理容器購入費補助金
  - ・バイオマスプラスチックゴミ袋の購入
- 公共施設への再生可能エネルギーの導入【新規】
- 環境負荷の少ないモビリティ（シェアサイクル）の運営
- 森林整備事業（CO<sub>2</sub> 吸収源の適正管理）

その他

- ・脱炭素先行地域の創出に伴い、2030年までに、個人および公共施設・公共用地に再エネを最大限導入し、電気の地産地消を目指す
- ・太陽光などの設置促進区域を禁止区域の検討を含めて設定
- ・プラごみの資源化や生ごみの減量化を促進



### 環境負荷ゼロへの挑戦

- ゼロカーボンシティ宣言
- プラスチックごみゼロ宣言



## 8. 資源循環型地域づくりの促進【新規・拡充】

ごみ処理体制の統一による令和5年度からの新たな分別区分の設定とあわせ、プラスチック使用製品等の分別回収や生ごみの減量化、資源物回収の拡充を推進し、資源化率向上を図ります。

また、地域のごみ集積所を清潔で効率的な集積所にするため、設置要綱の制定やごみ集積ボックス助成金の拡充を行います。



- 生ごみ処理容器購入費補助【新規】
- 生ごみ集積ボックス設置費補助【拡充】
- 資源物分別回収奨励金の交付
- バイオマスプラスチック配合可燃ごみ収集袋（小袋）【新規】  
植物由来の素材を原料としたバイオマスプラスチック配合のごみ袋を導入
- 新ごみ処理ハンドブック等の作成印刷【新規】

<p><b>教育費</b></p> <p>各小中学校や公民館・図書館の運営など</p> <p>37,125 円</p>	<p><b>総務費</b></p> <p>税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など</p> <p>44,061 円</p>	<p><b>公債費</b></p> <p>市債の元金・利子の返済</p> <p>51,491 円</p>	<p><b>衛生費</b></p> <p>予防接種や各種健診、ごみ処理事業など</p> <p>53,441 円</p>	<p><b>民生費</b></p> <p>高齢者・障がい者・児童・医療福祉など</p> <p>166,374 円</p>	<p><b>市民一人当りに使われるお金</b></p> <p>※令和4年1月31日 現在人口 (住民基本台帳) 74,281 人</p> <p><b>437,662 円</b></p>
<p><b>その他</b></p> <p>諸支出金など</p> <p>13,259 円</p>	<p><b>議会費</b></p> <p>議会の運営など</p> <p>3,421 円</p>	<p><b>商工費</b></p> <p>商工業振興や観光施設管理など</p> <p>9,089 円</p>	<p><b>農林水産費</b></p> <p>農林業振興支援や農地の基盤整備など</p> <p>18,290 円</p>	<p><b>土木費</b></p> <p>市道の整備・補修や公園管理など</p> <p>20,225 円</p>	



## 10. 子育て支援体制の強化【新規・拡充】

安心して子どもを産み育てられるよう、関係機関が連携体制を強化し支援します。また、適切な支援・助言ができるよう、職員や関係機関に向けた研修を行います。



- 子ども総合相談支援事業【拡充】
- 子ども総合育成支援事業【拡充】
- 在宅子育て支援事業（ママ・リフレッシュ）【拡充】
- 養育支援訪問事業【新規】  
支援が必要な家庭に相談員等が訪問し、指導・助言や支援を実施
- ひとり親自立支援応援事業【新規】  
ひとり親の自立支援を目的に資格取得のための受講料の一部を支給
- 医療的ケア看護師養成事業【新規】  
医療的ケア児に対応するため、市立病院の訪問看護ステーションに県立こども病院から看護師を受け入れ、医療的ケア看護師を養成



## 9. 結婚・妊娠・出産期の包括的支援の強化【拡充】

ライフステージに応じた継続的な支援を進め、安心して結婚、妊娠・出産、子育てができる環境を整えます。



- 結婚新生活支援事業【拡充】  
結婚に伴う新生活の初期費用（住宅取得・賃貸料、引越し、リフォーム費用等）を支援
- 子育て世代包括支援センター事業  
妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、ニーズに合わせて情報提供や助言、保健指導などを実施
- プレコンセプションケア検診事業  
妊娠を考えるすべての女性を対象に、検診や医師の診察、保健師・管理栄養士によるカウンセリングを実施

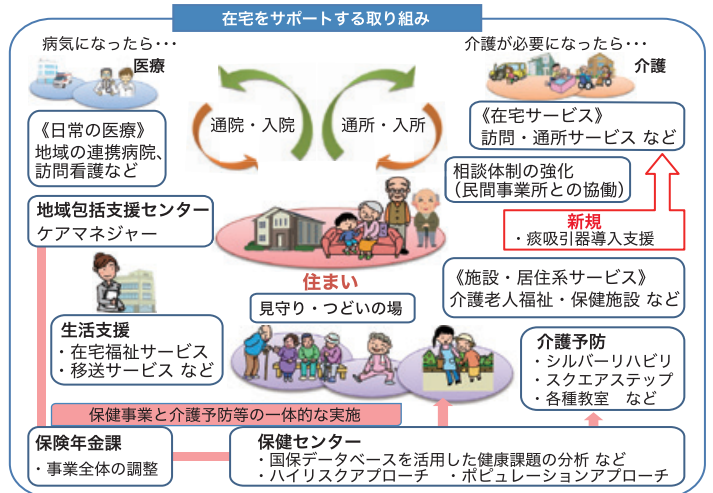


## 11. 在宅介護サービスの強化と介護予防の推進【新規】



健康寿命の延伸、早期支援・重度化防止のための事業を推進するとともに、介護が必要になってからの在宅生活を支援します。

- 在宅介護世帯への痰吸引器導入支援【新規】  
痰吸引器の購入費用の一部を助成
- 介護予防の充実と重度化防止の推進
- 日常生活支援サービス基盤整備事業（地域サロンの活動推進）
- 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業  
保健事業と介護予防事業を一体的に行い、生活習慣病の重度化防止や心身の機能維持を図る



### ■ 特別会計内訳

(単位：千円)

区分	予算額
国民健康保険	7,394,000
後期高齢者医療	1,011,000
介護保険	7,710,000
介護サービス事業	21,000
農業集落排水事業	586,000
<b>特別会計合計</b>	<b>16,722,000</b>

一般会計	325億1,000万円
特別会計	167億2,200万円
企業会計	72億290万7千円
予算総額	564億3,490万7千円

### ■ 企業会計内訳

(単位：千円)

区分	予算額
病院事業	1,066,160
収益的支出	986,513
資本的支出	79,647
水道事業	2,743,968
収益的支出	1,655,453
資本的支出	1,088,515
工業用水道事業	25,571
収益的支出	25,571
資本的支出	0
公共下水道事業	3,367,208
収益的支出	1,749,819
資本的支出	1,617,389
<b>企業会計合計</b>	<b>7,202,907</b>

会計となります。

水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の4

### ▽ 企業会計

企業会計は、事業から得る収益を主な財源として運営していく会計のことです。本市では、病院事業

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合、保険料や使用料などそれぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。

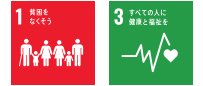
### ▽ 特別会計





## 12. 「ひと」を支える支援の充実【新規】

障がい者・高齢者・生活困窮者・ひきこもりの方など、さまざまな生活課題から生きづらさを感じ、支援を必要としている「ひと」を支える仕組みを強化します。



各事業の効果的な連携、支援者間の情報共有や協働、対象者や地域の受け皿づくりの充実を図る

### ● 意思疎通支援事業

#### (障がい者地域生活支援事業)【新規】

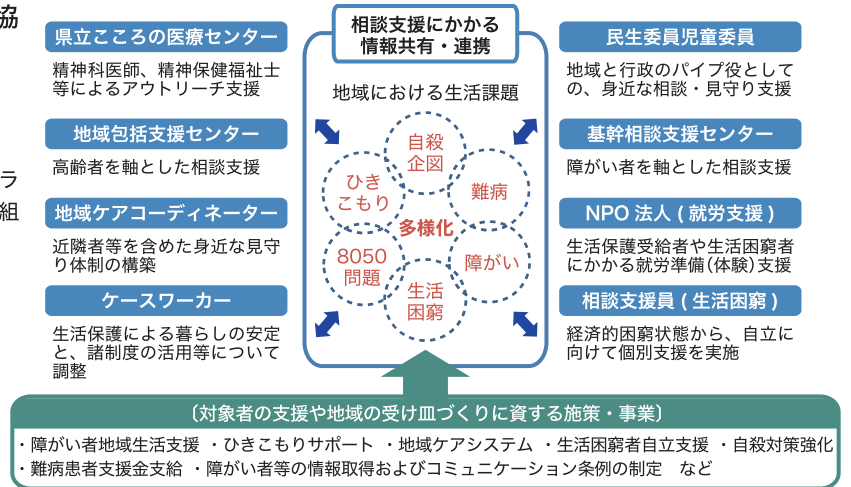
聴覚障がい者のコミュニケーション支援として、オンラインで手話通訳者を呼び出し、意思疎通を仲介する仕組みを市役所に導入

### ● 就労準備支援事業

#### (生活保護適正化事業)【新規】

生活保護受給者の就労準備を支援

### ● ひきこもりサポート事業



## 13. 儲かる「笠間の栗」産地づくりの推進・花きブランド力の強化【新規・拡充】

### 〈 笠間の栗 〉

現在、多くの方が「笠間の栗」を求め、一方、材料となる栗ペースト等の安定供給が課題となっています。課題を解決し、「笠間の栗」に関わるすべての方の所得を向上させるため、「笠間の栗」産業を発展させる事業を実施します。



### 〈 小菊 〉

全国トップクラスの生産技術・品質を有しながらも、生産者の高齢化・後継者不足等により、栽培面積・生産量が減少傾向にある小菊の技術継承、生産量維持・回復を図ります。

### ● 日本一の栗産地づくり推進補助事業

- 栗生産規模拡大支援
- 栗栽培機材等導入支援
- 栗苗木支援
- 栗栽培農地貸付補助

### ● 遊休農地等を活用した笠間の栗生産拡大事業

遊休農地等を借り上げ生産を拡大し、品種・サイズ別出荷による販売価格の向上とブランド確立を図る

### ● 「笠間の栗」むき子マイスター養成事業【新規】

KKT6 (笠間の栗つたえ隊) が中心となり、むき栗加工技術を指導し、むき子を養成

### ● 「笠間の栗」プロモーション事業【新規】

台湾への日本産食品の輸入規制が緩和されることに伴い、第一段階として台湾の学校給食用に「笠間の栗」を輸出

### ● 笠間の栗グレードアップ会議の拡充【拡充】

既存組織を発展させ、新たな組織で「笠間の栗」をブランディング

### ● 小菊生産支援事業【新規】

小菊生産作業の省力化・効率化など新たにスマート農業に取り組むために機械を導入する生産者を支援



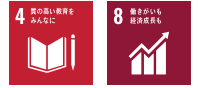




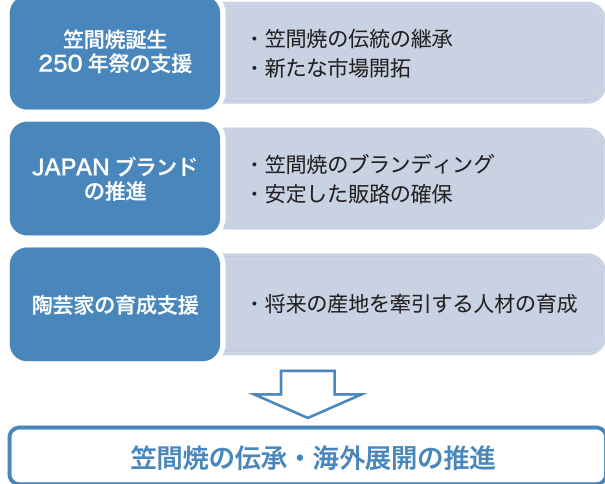
## 14. 笠間焼の伝承・海外展開の推進【新規】

笠間焼が、令和4年に誕生250年を迎えました。「伝統と革新の笠間焼プライド」をテーマに実施する「笠間焼誕生250年祭」を支援します。また、イギリスをターゲットとした笠間焼の海外販路獲得を引きつづき支援していきます。

笠間の陶炎祭は、「新たな生活様式」に対応するため、今年から入場料金制を導入した開催となります。市としても、開催に向けて支援しています。



- 笠間焼誕生250年祭の支援【新規】
- JAPAN ブランド（笠間焼の海外展開）の推進
- 陶芸家の育成支援



## 15. あたご天狗の森公園リノベーションの推進【拡充】

あたご天狗の森公園全体の改修にかかる設計を行います。

- あたご天狗の森公園再整備基本計画の推進【拡充】
  - ・実施設計の検討
  - ・実施設計図の作成
  - ・工事費の算出
  - ・実施設計説明書の作成 等



イメージ（既存休憩施設利用計画）



## 16. 観光資源の魅力強化【新規】

観光関連施設の大規模改修を計画的に進めます。今年度は、菊栽培所事務室建築設計・笠間工芸の丘大規模改修設計・つつじ公園山頂トイレ整備工事を行い、観光資源の魅力強化を図ります。



- 菊栽培所の体制の強化【新規】  
伝統ある笠間の菊まつりの菊栽培・装飾技術を次世代へ繋げていくため、菊栽培所の組織を明確化し、所長の配置や事務所の改修設計を行い、菊づくりの担い手育成と栽培面積の拡大、栽培技術の向上を図る
- 笠間工芸の丘再整備の検討【新規】  
施設をリノベーションし、機能の充実、利便性・魅力度の向上を図る
- つつじ公園の環境整備  
浄化槽式トイレの整備など機能向上を図る



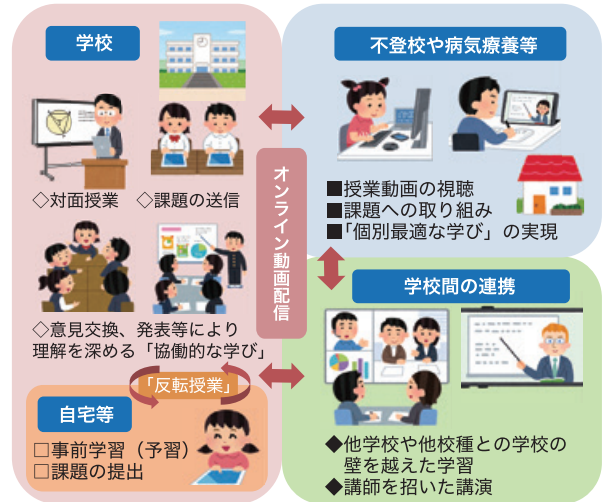


## 17. 笠間版ハイブリット型教育の推進【拡充】

デジタル化時代に即した次世代を担う子どもたちの育成に対応するため、従来の対面授業に加え、オンライン授業・反転授業を組み合わせせた「笠間版ハイブリット型教育」を推進します。



- GIGA スクール構想の推進と ICT 教育指導支援員の活用【拡充】  
教員の ICT 機器を活用した指導力の向上・授業改善に向けた ICT 教育の運用を支援
- 「不登校や病気療養等」の児童生徒に対するリモート授業の推進【拡充】
- 反転授業の充実
- 学校間連携による動画配信学習の実施【新規】  
他学校や他校種（高等学校・大学・企業等）とのオンライン授業を実施

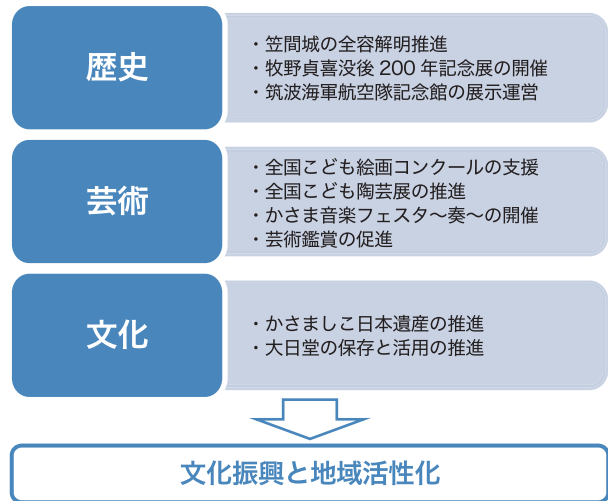


## 18. 歴史・芸術・文化資源活用による文化振興と地域活性化の推進【新規】

笠間焼をはじめ伝統工芸、歴史と風土が育んだ文化芸術資源を継承し、気軽に親しむ機会を創出することで、豊かな感性を養い、郷土を愛する意識の醸成を図り、地域の文化資源活用による文化振興・地域活性化を実現していきます。



- 大日堂保存活用【新規】
- 牧野貞喜没後 200 年記念事業【新規】
- 日本遺産推進による地域活性化
- 笠間城跡の国指定史跡への推進
- 全国こども絵画コンクールの補助金【拡充】
- かさま音楽フェスタ ～奏～
- 全国こども陶芸展推進
- 筑波海軍航空隊展示運営
- 芸術鑑賞事業



## 19. 日本一の公民館・図書館サービスの充実【拡充】

- 公民館講座運営事業
  - ・かさま志民大学・かさま子ども大学で SDGs の目標を設定
  - ・動画配信「かさま志民オンライン講座」など ICT を活用した内容の充実
- 公民館施設管理事業（新型コロナ対策）【拡充】  
公民館内に Wi-Fi 環境を整備
- 図書館サービス事業
  - ・イベントなどを通し、学習・読書の機会を提供
  - ・学校や地域と連携し、子どもの読書活動を推進
- 電子図書館運営事業【拡充】



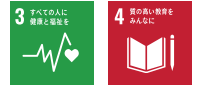
### 生涯にわたり学び続けるまち





## 20. 「スポーツシティ かさま」の推進【新規・拡充】

笠間スポーツコミッションを核に、アーバンスポーツの普及とスポーツを活用した地域経済の活性化に取り組みます。



### ● 笠間スポーツコミッションの体制強化【拡充】

- ① 笠間スポーツコミッション事業の推進
  - ・事務所独立による専従、法人化による組織強化
  - ・子どもの運動機会の提供と収益事業化
  - ・BMX チャレンジ大会の開催やスケートボード大会の誘致
  - ・小中学生スケートボード体験会の実施などによるアーバンスポーツの普及促進
  - ・合宿誘致やスポーツツーリズムの推進
- ② 地域活性化起業人事業を活用した地域指導者の育成と子育て支援型スポーツ教室の開催

### ● 子どものスポーツ能力向上の支援

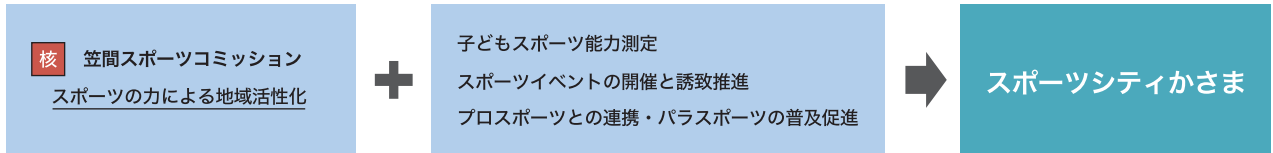
- ・子どもスポーツ能力測定

### ● スポーツイベントの開催と誘致の推進

- ・スナッグゴルフ大会
- ・県下中学校交歓笠間市駅伝大会
- ・かさま陶芸の里ハーフマラソン大会
- ・スケートパーク横に新設する BMX レースコースで大会を開催（地域おこし協力隊）

### ● プロスポーツとの連携・パラスポーツの普及促進【新規】

- ・水戸ホーリーホックホームタウン地域交流
- ・茨城県民球団との連携による車いすソフトボール大会の開催【新規】
- ・パラスポーツ体験会の開催



## 21. 行政区・地域コミュニティ活動の促進【新規・拡充】

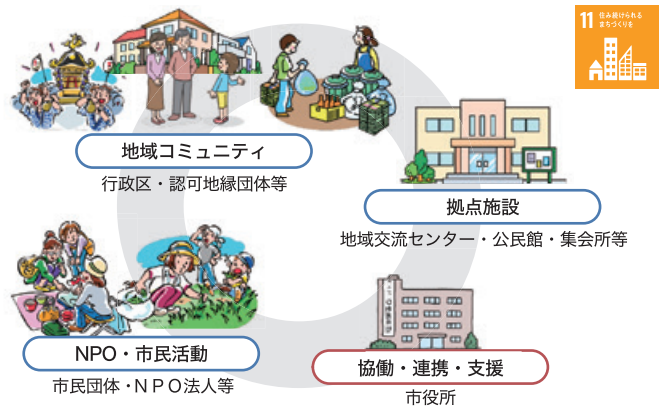
### ● 行政区事務

### ● 行政区加入促進【新規】

行政区活動の活性化を推進するため「笠間市行政区への加入及び参加を促進する条例」を7月1日に施行し、行政区業務の見直し等を実施

### ● 地域交流センターの運営【拡充】

### ● 市民活動への支援（市民活動助成制度）



## 22. 笠間版デジタル田園都市構想・生涯活躍のまちモデルの形成【新規・拡充】

生涯を通して活躍できる住環境の創出を図る生涯活躍のまちの形成に継続的に取り組むとともに、デジタル技術の活用により市民生活に密着したサービスの向上を図る「デジタル田園都市モデル」の形成を、スマートシティ形成の取り組みと連動して推進します。



### ● 笠間版デジタル田園都市モデル事業【新規】

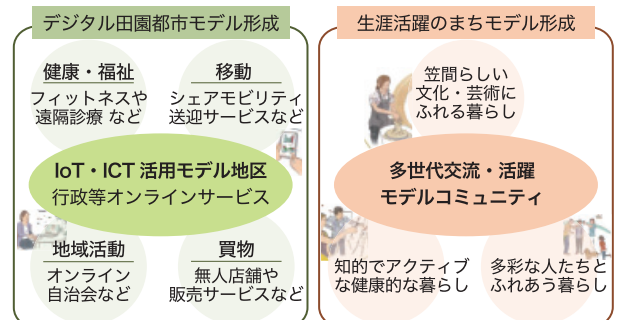
マイナンバーカードの活用等によるオンライン行政サービスを推進する環境整備をはじめ、地域生活の課題解決に向けたモデルとなるデジタル化の取り組みを推進

### ● 笠間版CCRC推進事業

- ・モデルコミュニティの形成に向け、移住推進策と連動した居住者確保を推進
- ・公民連携による笠間リビング・ラボの運営を開始

### ● スマートシティ形成事業【拡充】

ヘルスケアサービスの充実を図る共同研究



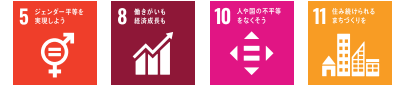
※上記図内は検討イメージ

スマートシティ（全域）プラットフォーム/データ連携基盤



## 23. 多様な人材の活躍の場の創出【拡充】

年齢や性別、国籍や障がいの有無などにかかわらず、それぞれが尊重され、多様な人材が活躍できる社会「ダイバーシティ社会」実現のための取り組みを推進するとともに、地域を支える多様な人材の確保を図っていきます。



- ダイバーシティの啓発とPR【拡充】
- ユニバーサルデザインの推進
- 外国人人材の活用推進
- 市役所に外国人相談窓口を設置
- 国際交流への支援



## 24. デジタルトランスフォーメーションの推進【新規・拡充】

「笠間市デジタルトランスフォーメーション（DX）計画」をさらに推進し、来庁を必要としない便利で効率的な住民サービスに努めます。



- 行政手続きのオンライン化推進【新規・拡充】  
デジタルファーストに基づき、行政手続き（各種申請など）の原則オンライン化を推進
- 統合型・公開型GISの整備【新規】  
開発行為に必要な市道の認定路線名や幅員などの情報や、水道および下水道の設置位置情報を、24時間いつでもどこからでも取得できるように地理情報システム（GIS）を整備
- デジタル人材の育成【新規】  
市民の皆さんなどを対象に、デジタルを学習するオンラインサービスを提供
- デジタルディバイド（情報通信技術の利用格差）の解消【新規】  
マイナポイント申請のほか、マイナンバーカードの健康保険証利用登録および公金受取口座登録をカード取得者が行えるよう支援
- デジタルによる市役所業務の効率化【新規・拡充】
- デジタルを活用した組織コミュニケーションツールの導入【新規】

## 26. 行政改革・人材育成の推進【新規】

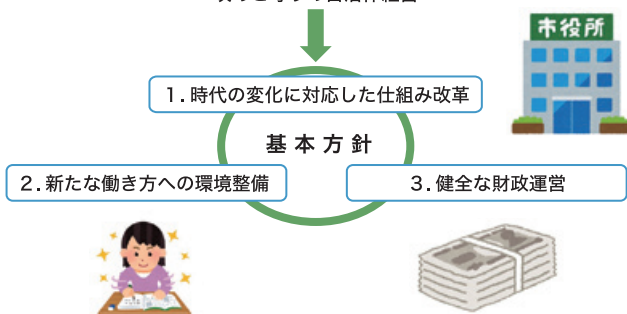
時代の変化に合わせた行政運営を推進するとともに、人材育成の充実を図ります。



- 行政改革推進事業
- 人材育成研修の推進【新規】
- 人事管理・職員採用力の強化

<第4次行政改革大綱の基本理念と基本方針>

基本理念  
～ 攻めと守りの自治体経営 ～

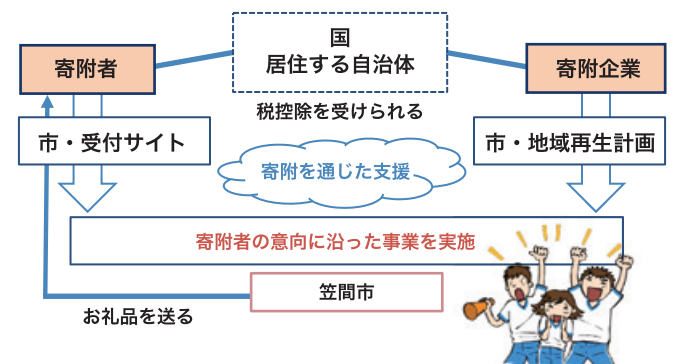


## 25. 自主財源確保策の強化【拡充】

- ふるさとづくり寄附金業務委託等【拡充】  
返礼品の開拓・プロモーションなど
- 企業版ふるさと納税の活用推進
- 収納対策事務



【ふるさと納税制度】



【収納対策事務】

